

令和5年度（2023年度）公共事業再評価調書

（様式3）

基準年月日 令和5年8月1日

調書番号	07-03	所管部	水産林務部	作成責任者	水産林務部水産局 漁港漁村課長 山本 明宏
				担当係	計画係（内）28-318

I 基本事項（基準日時点）

事業種別	水産基盤整備事業費				
ふりがな 地区名	おとへ 乙部	市町村名	乙部町	総事業費	1,200 百万円
負担割合	国	70.0%	道	30.0%	市町村
		840 百万円		360 百万円	0 百万円
				その他	0 百万円

事業目的・目標	近年の大型化する低気圧などにより、水域施設へ砂が堆積することで三角波が発生し、出漁の見合わせや、漁船の損耗被害、船舶の安全航行への支障など、非効率な漁業活動を強いられている。これらに対応するため防砂堤等を整備する。				
	【アウトカム】等 ●安全な航路航行が可能となる漁船数 整備前 0隻 → 整備後 21隻				

事業概要	沿岸漂砂の影響により、水域施設への堆砂量が増大し静穏度などが悪化していることから、防砂堤を整備することで漁船航行時の安全性を確保し、漁業活動の効率化を図る。	工事費内訳	(乙部地区)	(百万円)	(百万円)	(百万円)
			防砂堤 L=130.0m	320	450	130
			-2.0m航路サンドポケット 一式	105	235	130
			(元和地区)			
			防砂堤 L=120.0m	300	300	0
突堤 L=30.0m	105	105	0			
測量設計費	90	110	20			
計	920	1,200	280			

総合計画での位置付け	総合計画の体系	大項目 経済・産業	中項目 農林水産業の持続的な成長	小項目 水産業の安定供給を担い地域を支える活力ある水産業・豊かな漁村づくり	施策名 栽培漁業の推進や経営の安定化等による水産業の振興
------------	---------	--------------	---------------------	--	---------------------------------

特定分野別計画等での位置づけ	施策目標・方針	【計画名：北海道水産業・漁村振興推進計画 P15】 （快適で住みよい漁村の構築） ・大規模地震や津波、近年激甚化・頻発化する異常気象等に対応するため、海岸保全施設や漁港の耐震岸壁の整備、漁村における防災情報伝達施設や避難施設の整備など、漁港漁村の防災・減災対策を推進します。
	関連する指標	—

II 公共事業評価経過

事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費 (a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費 (b)	進捗率 (b)/(a)
							事前評価又は当初	H28 (2016)	H28 (2016)		H32 (2020)
前回再評価	H28 (2016)	H28 (2016)	R3 (2021)	R6 (2024)							
今回評価			R5 (2023)	R8 (2026)							

変更理由・内容（概要）	<ul style="list-style-type: none"> 土砂運搬経路（国道）の自然災害（土砂崩れ）発生による通行止めに伴う運搬距離が増加により事業費が増加 施工方法の変更および積算基準の改訂による施工費の増加に伴う事業費の増【乙部地区】 資材・労務単価等の上昇による事業費の増 事業費が増加したことに伴う、事業期間の延伸
-------------	---

III 事業採択前の状況

1. 事業採択に至る経過と背景	H26年（2014年）頃から、大型化する低気圧による水域施設の静穏度の悪化に伴う出漁の見合わせや、堆積した砂と漁船の船底が接触し損傷する等の漁業活動への支障が顕著となったことから、施設整備要望があがった。										
2. 事業検討の経緯（住民ニーズの把握等）	<ul style="list-style-type: none"> ●H26（2014） 乙部町・ひやま漁協から漁港整備要望 ●H27（2015） 町・漁協・漁業者と地元協議を経て、最終的な港形を決定。 ●H28（2016） 事業採択 										
3. 事業効果を及ぼす地域・対象	<ul style="list-style-type: none"> ●乙部地区乙部漁港 15経営体 航路等の堆砂対策として防砂堤を整備することにより、安全で効率的な漁業活動が可能となる漁船数。 【整備前 0隻 → 整備後 21隻】										
4. 関連する事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業主体</th> <th>事業期間</th> <th>事業費（百万円）</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事業名	事業主体	事業期間	事業費（百万円）	事業内容					
事業名	事業主体	事業期間	事業費（百万円）	事業内容							

IV 事業の実施状況

(1) 事業実績及び今後の計画															
施工(工種)区分	工事内容	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	進捗状況	事業費(百万円)	
(乙部地区)														0	
防砂堤	L=130.0m	←	→					←	L=72.0m	→	←	L=58.0m	→	55%	450
-2.0m航路サンドポケット	一式												一式	0%	235
(元和地区)														0	
防砂堤	L=120.0m	←		L=120.0m										100%	300
突堤	L=30.0m	←	L=30.0m	→										100%	105

(2) 進捗状況

元和地区の防砂堤と突堤については令和4年度で完了している。現在、乙部地区の防砂堤の整備を進めており、事業量の増によって令和8年までの事業期間の延伸が必要ではあるものの、今後の実施に当たって特に大きな支障となるものはない。

b

a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画・期間等を変更し実施する。
c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。

2. 事業効果	経済効果の内訳(百万円)		費用の内訳(百万円)		備考
	項目	R5 現在	項目	R5 現在	
	水産物の生産性向上	1,317	建設費	1,214	●「水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン」(R5年6月改訂 水産庁漁港漁場整備部)に基づき算出。 ●効果は、施設整備による漁業生産コストの削減、漁獲機会の増大、漁業就労者の快適性・安全性向上の効果を年間便益として計上。 ●効果及び費用はR5(2023)に現在価値化し、「整備期間+完了後50年間」で算出する。
	漁業就業環境の向上	15	維持管理費	3	
	合計(B)	1,332	合計(C)	1,217	
	B/C	前回算定年度: R3年度(2021年度)【再評価】 前回算定時B/C: 1.11 (合計(B): 933 合計(C): 839)			
	R5 現在	変更理由 ・事業費の増額に伴う費用の増加 ・完了予定年度の延伸に伴う維持管理費の増加 ・漁業労務単価の改定に伴う効果の増加			
	1.09				

3. コスト縮減などの取組	取組の項目	取組内容	縮減額(百万円)
	施工の最適化	ブロック制作ヤードの選定で、仮設工(敷鉄板)が不要となる土地を確保しコスト縮減。	

V 評価

1. 必要性	本事業は、檜山管内の漁港別生産高トップの水揚げを誇る地域産業の拠点地区の整備であり、漁業活動の安全操業に資するものであることから、事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。
--------	---

a

a: 事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。
b: 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。
c: 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。

2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題
	●海上工事であるため、油流出などによる水産物への被害を未然に防止するための非常用機材の配備等、工事施工に伴う周辺環境への影響は十分考慮するものである。 ●漁期と施工時期を調整し、水産業への影響に配慮している。 ※前回の再評価以降における状況変化はない。
	(2) 事業推進に対する地域の動向・意向
●地元期成会から漁港の整備促進について毎年度要望が出されている。 ※前回の再評価以降における状況変化はない。	
(3) その他の課題	● 特になし

3. 事業達成の見込み	今後の事業実施に当たって、現時点で事業の進捗に影響する課題はなし。
-------------	-----------------------------------

a

a: 現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b: 課題はあるものの達成は可能である。
c: 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。

4. 対処方針	事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和8年度の完成を目指して事業を継続する。
---------	--

a

a: 継続 b: 終了 c: 休止 d: 中止

事業期間変更の有無	有	事業内容変更の有無	無	総事業費変更の有無	有
-----------	---	-----------	---	-----------	---

VI 備考


1. 評価履歴	【評価結果】 再評価：令和3年度評価 継続（変更なし）
	【特記事項】
2. その他の取組事項	● 漁業者が中心となって、年数回の漁港内清掃活動を実施している。

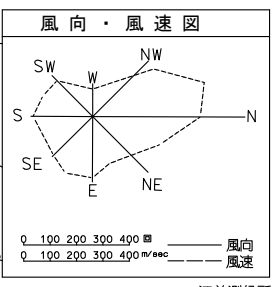
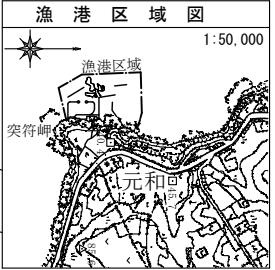
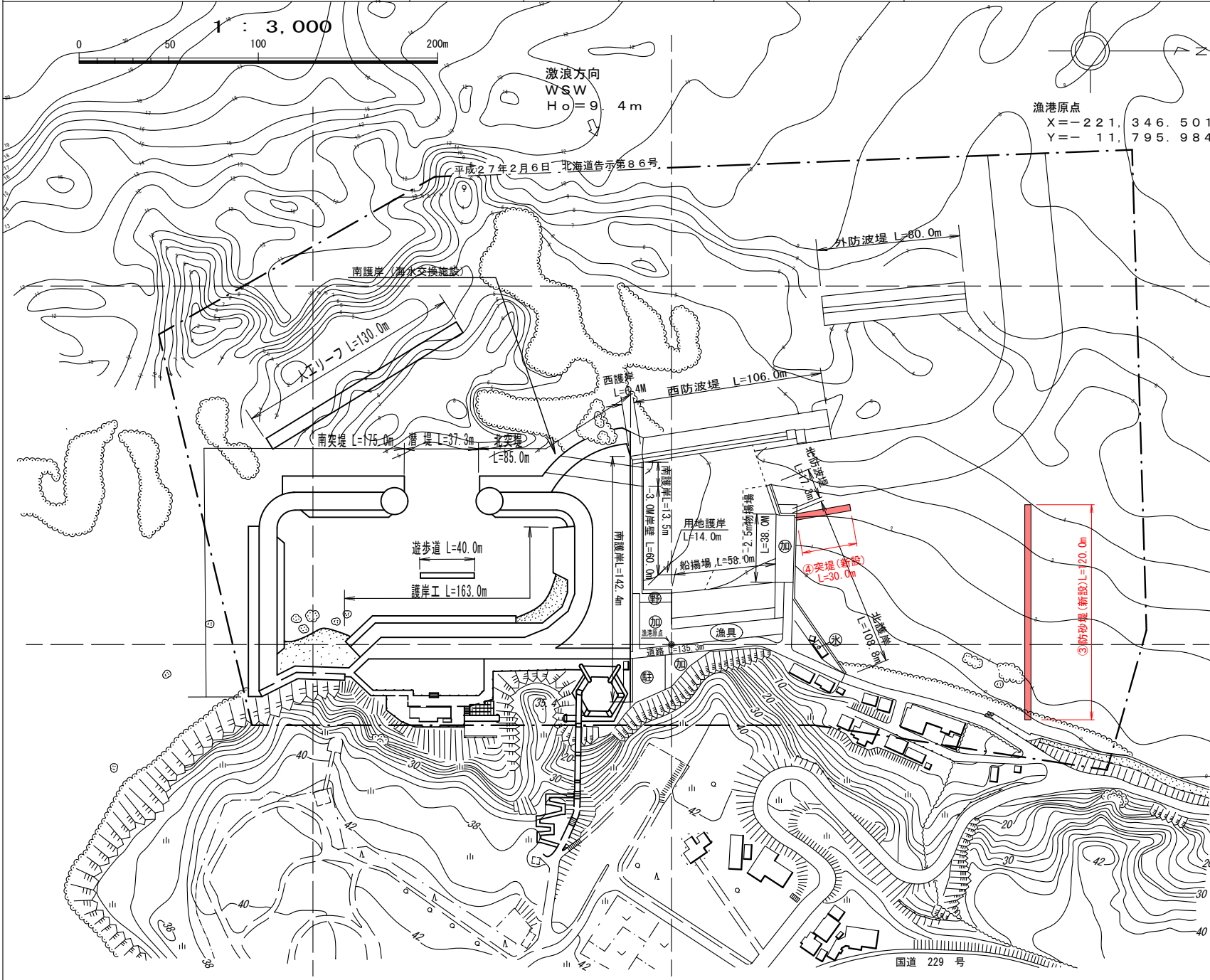
補足資料

VII 事業計画変更

事業経過							経過 年 数	事業費			
再評価	事業採択	着手	評価年度	変更年度	完了予定	総事業費 (a)		当該年度 事業費	累計事業 費 (b)	進捗率 (b)/(a)	
事前評価 又は当初		H28 (2016)	H28 (2016)			H32 (2020)					
変更①	1回目	H28 (2016)	H28 (2016)	R3 (2021)	R3 (2021)	R6 (2024)	920		487 53%		
変更②	2回目			R5 (2023)	R5 (2023)	R8 (2026)	1,200	14	825 69%		
変更理由・内容							<p>変更①：事業期間の延伸</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業着手後の情勢変化により、元和地区の漁期（サケ定置網漁）が変更となり施工期間が制限されたため、事業期間を延伸。 <p>変更②：事業期間・総事業費の変更</p> <ul style="list-style-type: none"> 土砂運搬経路（国道）の自然災害（土砂崩れ）発生による通行止めにより、運搬距離の変更（遠方経路の選定）を余儀なくされたため、事業費が増加。 事業着手後の情勢変化により、所要機械（高圧送コンクリートポンプ車）の確保が困難となったため、施工方法を陸上施工から海上施工に変更したことによる事業費の増。 積算基準の改訂（機械の流通減少による使用機種の一統）による施工費の増加に伴う事業費の増。 資材、労務単価の上昇や消費税率の変更による事業費の増。 残事業を考慮し事業期間を延伸。 				

乙部地区(乙部漁港(元和地区))
漁港施設機能強化事業 計画平面図

漁港番号	種別	所管	事業主体	管理者	施工場所	位置図
1123020	第2種	北海道	北海道(乙部町)	北海道	北海道 爾志郡 乙部町 字 元和	



江差測候所

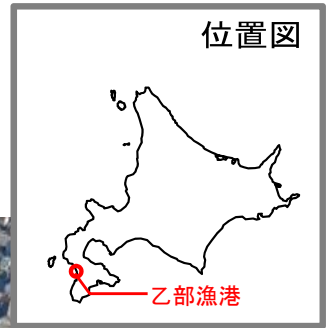
H.H.W.L	+1.3
H.W.L	+0.6
M.L.W.L	+0.1
L.W.L	±0.0

凡例 (Legend)

■	事業基本計画 (Project Basic Plan)
□	
□	
□	
□	
□	

平成29年1月 測量

事業名 : 漁港施設機能強化事業
地区名 : 乙部地区 乙部漁港 (北海道爾志郡乙部町)



●地区の概要

爾志郡乙部町は、北海道南西部の日本海沿岸部に位置しており、北側は八雲町熊石地区、南側は江差町と接し、西側約55km沖合に離島の奥尻島がある。

当地区は、古くから漁業が盛んな地域であり、平成7年度の檜山管内8町8漁業協同組合の広域合併の際には「ひやま漁業協同組合」の本所が設置された。現在では、スケトウダラ延縄漁業やイカ釣り漁業を主体とした水産業が地区の基幹産業となっている。

[属地陸揚量: 373t、属地陸揚金額: 264百万円 (R3港勢)]

●事業の目的

近年の大型化する低気圧などにより、水域施設へ砂が堆積することで三角波が発生し、出漁の見合わせや、漁船の損耗被害、船舶の安全航行への支障など、非効率な漁業活動を強いられている。

これらに対応するため、新たに防砂堤を整備し、漁船航行時の安全性を確保し、漁業活動の効率化を図る。



事業内容

・事業量	乙部地区	防砂堤 (新設)	L=130.0m
		サンドポケット	一式
元和地区	防砂堤 (新設)	L=120.0m	
	突堤 (新設)	L= 30.0m	
・事業主体	北海道		
・総事業費	1,200百万円		
・事業期間	H28~R8		
・B/C	1.09		

